

# 水 稲

## “良質米生産は健苗育成から”

**育苗管理** 移植日を定めて適正な育苗計画を立てましょう!

品 種	浸種・催芽	播種	育苗日数	移植
ハナエチゼン	3月下旬	4月上旬	25日間	4月下旬～
コシヒカリ	4月中旬	4月下旬	18日間	5月15日以降
あきさかり	4月中旬	4月下旬	20日間	5月10日～

※あきさかりについては、コシヒカリより10日以上早く植えると、収穫時期が重なるので注意する。

項 目	作 業 の ポ イ ン ト
浸 種	水道水を使い、水温15℃で7日間程度行う。 ハナエチゼンの時期は気温（水温）が低くなるので2～4日程度長めに行う。 浸種開始後3日間は水の交換をせず、その後は、2日毎に交換する。
催 芽	30℃で1日程度保温し、ハト胸状態にする。
播 種	播種量 乾粃135g/箱（催芽粃168g/箱） 播種覆土後、ダコレート水和剤500倍液を、一箱あたり500cc灌注する。
ハウス準備	立枯病の原因となる雑草や稲わらなどの有機物は、ハウスの外に出す。
出 芽	出芽器の温度は32℃を厳守する。
緑 化	育苗ハウスに出して2日程度は育苗シートをかけ、低温（10℃以下）に注意する。 高温時は徒長防止のため、最初の7日間は温度管理に注意する。（15～25℃）
硬 化	かん水は天候によってその有無や量を加減し、できるだけ午前中に行う。 移植の3～4日前からハウスやトンネルを開放し外気にさらす。

### 春の農作業安全 確認運動の 実施について

【テーマ】  
「一人一人の安全意識と周囲からの「声かけ」から始まる農作業の事故防止」  
事故が多発する春作業の3～5月を農作業安全対策の重点期間として  
「春の農作業安全確認運動」を実施します。



## 白ネギ

### 圃場準備

- ・作付予定の圃場は前年のうちに額縁排水溝・弾丸暗渠を設置して排水を良くしておく。
- ・堆肥は、前年または定植1ヶ月前までに施用する。
- ・定植10日前に基肥を使用し、土が細かくなるように耕耘する。
- ・畝幅は100～150cmとし、耕土が深い場合は狭く、浅い場合は広くする。
- ・定植用に幅35cmの溝を掘る。溝底は厚さ5cm以上柔らかい土を残す。



### 定 植

- ・平均気温が12℃以上になったら（4月初旬頃）植えることができる。
- ・苗は葉数2枚、草丈15～20cmが良い。葉が長い場合は短く切り揃える。
- ・定植前日に苗箱にたっぷりかん水し、土が崩れないようにする。
- ・定植はチェーンポット用簡易移植機です。
- ・35cmの高さに印をした棒を苗の横に立て、土寄せ作業の目安にする。（目安棒）
- ・定植後に倒れた苗や覆土不足の部分を手直します。

